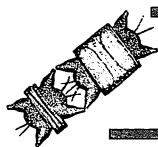


岩手県越喜来湾で採集した光合成性 *Dinophysis* の一種、*Dinophysis fortii* Pavillard の細胞内に食胞様の細胞内器官を見出した。透過型電子顕微鏡による観察では、本器官の70%以上が膜状の構造を含み、さらに大量のミトコンドリアを含んでいた。これらのミトコンドリアの形態は *D. fortii* 自身のミトコンドリアのそれとは全く異なっていたことから、この食胞様器官は *D. fortii* の自己消化胞ではなく、摂食栄養を営んだ結果形成された真の食胞であると考えられた。ミトコンドリア以外の内容物については同定出来なかったが、大量の外部由来のミトコンドリアを含む事実は、*D. fortii* が真核生物を餌として取り込んでいることを示すものである。食胞以外の観察では、*D. fortii* の鞭毛孔内部 (flagellar canal) に細菌がトラップされているのが観察された。渦鞭毛藻類の鞭毛孔とそこに接続するプシュール (pusule) は高分子物質の取り込みに関与しているとの報告があることから、*D. fortii* は鞭毛孔部分から細菌を取り込んでいると推察した。以上から *D. fortii* の餌生物は真核、原核の両方の生物であると考えられた。 (*北里大・水産学部, **岩手県水産技術センター漁場保全部, ***東京水産大・海洋環境学科)



会員のページ

「Phycological Research」オンライン化のお知らせ

会員の皆様は、英文誌「Phycological Research」をオンラインでご覧になれるように準備を進めています。オンラインで閲覧するにはパスワードが必要になります。会員の皆様の個人のパスワードは次号「Phycological Research」の入った封筒の宛名ラベル右下に印刷して配付しますので、このパスワードを使用してアクセスしてください。なお、オンラインジャーナルの閲覧方法につきましては藻類学会ホームページおよび次号「藻類」などでお知らせする予定です。

国際動物命名規約第4版 日本語版の出版と頒布

「国際動物命名規約第4版 日本語版」が日本動物分類学関連学会連合から出版された。英仏語版の規約は今年の1月1日から発効しているが、この版から動物命名法国際審議会の認定を受けた各国語版も、「英仏語版と同等の効力と意味と権威を有する正文である」ことが規定された。このほど出版された日本語版は、今年の7月17日付で同審議会から正文であるとの認定が得られているので、この版の条文に基づいて命名法上のさまざまな処理が可能になった。日本語版の出版により難解な英仏語版の条文から解放されることは、個々の研究者のストレスを軽減するばかりでなく、動物分類学の普及にも貢献するであろう。

日本語版はB5判、152頁、クロス張ハードカバーで頒布価格は3,000円(送料込)である。価格の半分近くはロイヤリティとして、著作権を持つ動物命名法国際信託に支払われる。大きい財政赤字を抱えている同信託の援助にもなるので、多くの会員が購入して下さるようお願いする。

購入を希望される会員は、氏名、送付先住所、電話番号、必要部数と、公費払いをご希望の場合はそれに必要な書類と通数、宛先および日付の記入方法を明記の上、下記へ申し込まれたい。なお、電子メールをお使いの会員は、ファクスではなく必ずメールをお使いください。

購入申込および問合せ先：国立科学博物館動物研究部 友国雅章

e-mail tomokuni@kahaku.go.jp

Fax 03-3364-7104